

「総ぐるみ」新聞

第10回 お出かけサポート

—横浜はじめ（発祥）めぐり—

望月 富子

◆横浜公園のチューリップと水禽窟

4月21日、曇天の空模様でしたが、17人の皆さんと共に、マイクロバスで出発しました。午後から雨という予報でしたので、行程変更して、まず16万本のチューリップが咲く「横浜公園」

に到着。例年より咲き始めが早かっただけに、どんな様子か心配していました。色とりどりのチューリップの花が歓迎してくれました。中でも、この公園だけに植えられている「ラバーズタウン」という新種の花を見



ることができました。花卉の上部にフリルが入り、白い花が咲きながらピンク色に変化する「移り咲き」で、やさしい花でした。

足を進めるうちに、「昔この辺りに水禽窟があつたはず」ということから、半畳くらいの竹囲いを見つけ、傍に置いてある竹筒を耳に当てて、地下の空洞へ水が滴り落ちる時に発生する水の音を楽しみました。江戸時代から水禽窟は、日本庭園で琴に似た音を楽しむ最高の趣味だったそうです。

◆発祥地めぐりのスタート

日本大通りのイチョウの葉が芽吹く若葉の下を、ゆつくり歩いて食事処へ向かう途中、「かながわアンテナショップ」でお買い物を楽しみました。

◇英一番館

横浜開港当時、外人居留地の海岸通りに、英一番館（現在のシルクセンターあたり）を初めとする外国商館が建ち並んでいました。その英一番館のレストランは、現在県民ホール6階にあり、「ビーフシチュー」が歴代シェフに受け継がれたメニューとなっていて、私達も昼食に賞味しました。

◇「君が代発祥の地」妙香寺

バスの中で、新見さんから判りやすく説明

していただきました。

江戸が東京と改名された明治元年、吹奏楽を学んで来いととの薩摩藩主の命を受けた若者30人が上京し、横浜駐屯の英国陸軍軍楽隊長を教師に、妙香寺を宿舍兼訓練場として厳しい修行を始めました。このように妙香寺は、日本の吹奏学発祥の地です。

また、軍楽隊長フエントンは、諸外国の軍楽隊は、それぞれの国の国歌を吹奏しているのだと教えました。そこで我が国にも国歌をとの運動が起こり、薩摩の若者が選んだ歌詞は、古来民間で唄われていた祝い唄「君が代」で、これをフエントンが吹奏楽に作曲しました。しかし、その曲は歌い難いとして、明治13年に新しい曲が作られました。これが現在の国歌「君が代」です。妙香寺は、国家「君が代」の発祥・由来の地といえます。（新見宏）

毎年10月の体育の日には、「吹奏楽発祥記念演奏会」が催され、新旧の「君が代」が演奏されているようです。

◇テニス発祥記念館

日本初の洋式庭園として、国の文化財・名勝に指定された山手公園の中に創設されたこの記念館は、当時を再現する道具や資料が展示されています。

今から百五十年前は、テニスというスポーツが発祥して間がない頃で、現在とはかなり様子が違ったようです。特に驚いたのは、男女ペアで行うテニスは、いわばお見合いの舞台にもなり、女性は当時の正装で着飾り、ロングスカートの裾を踏まないように、裾を引きあげる道具も身に着け、テニスを楽しんだようです。振り袖姿の娘たちが、羽子板で遊ぶようなものですね。果たして何組のカップルが生まれたのでしょうか。
(新見宏)



山手公園のシンボル「ヒマラヤ杉」は、日本で初めて植栽されたそうで、これ以降、ヒマラヤ杉は日本各地の洋式公園などに植えられるようになった。

たそうです。このヒマラヤ杉は松の仲間で、花が咲き終わると松ぼっくりがなるそうです。実物を見ましたが、「バラのブローチ」のようで素敵でした。

予定の日程が終わる頃から小雨が降り出しましたが、皆様無事に帰路につくことができました。今回巡った場所以外にも、横浜に

は、次のような発祥地があります。

- ①ガソリンスタンド ②アイスクリーム
- ③クリーニング ④ホテル
- ⑤西洋理髪 (ZAN GIRI) ⑥洋裁業
- ⑦消防車・救急車

◆最高の天気模様のお出かけ 新見宏

曇りがちなながら、さわやかな風が吹き抜ける最高の天気模様で、イベントに参加された皆様には、ご満足いただけたと思います。

お出かけサポートも10回目となり、この間ずっと企画を担当された望月さん、ご苦勞様でした。今後も良いアイデアが得られた折には、ぜひ担当をお願いします。

地域にはそれぞれ歴史や伝承があり、歴史好きな私が皆様に紹介する役を務めてきましたが、短い時間で要領よくお伝えすることは難しく、不出来ですみませんでした。

◆ヘルパーとして参加して 梶原千加

薄曇りの中を出発しましたが、天候のことを考えて見学順序を入れ替えてくださり、参加者への配慮が行き届き、柔軟性と余裕を持ったスケジュールでした。お陰で、参加の皆さんはご自分のペースで見学できましたし、笑顔溢れるひと時を過ごすことができました。万歩計で5千歩以上カウントしたといわれる方もあり、気分爽快。

チューリップや新緑を眺め、美味しい食事をいただき、歴史を学ぶことにより脳にも刺激を受けました。

参加者のお元氣なお姿に励まされ、この企画が長く続きますようにと願わずにはおられません。介助が必要な方にはお手伝いできますので、また声がかかりますようにと願いつつ、秋のお出かけサポートを今から

楽しみにしております。

日限山荘で、消防訓練を実施

先般4月3日の午前10時より、週2回昼食会を行っている日限山荘で、火消しの会の小高靖男さんのご指導により、消火器を使った消火訓練を実施しました。参加者は30人。

まず、住宅防火のポイント(ストーブ・たばこ・コードやコンセント・調理用コンロ等への対策がイラスト入りで判りやすく解説)のパンフレットを使った説明があり、その後、元消防署長の堀信司さんより、専門的な消火・避難方法などについて実際の事例による説明を受け、実地訓練をしました。階段を降りる際は、煙を吸わないように口を押さえ、背を低く滑るように降りました。

次に、入り口前の道路で、家庭用の消火器を使った消火訓練を行いました。鎌田紀幸さんと鈴木俊夫さんが、一人ひとりに、手を取って体験させていただきました。緊張して、全員真剣な顔になっていました。これからも定期的な訓練が必要だと思いました。

Cafe 総ぐるみ

4月は草餅をつくりました。5月はどんなお菓子かと楽しみです。5月は11日・25日に開催します。皆さんぜひお越しください。

舞岡川鯉のぼりフェスタへ参加

5月3日、鯛焼きと模擬店を出しました。